

チェンジ、チャンス、コネクトでNEXTステージへ TBグループ 村田三郎会長兼CEOに聞く

人口減少、デジタル化、グローバル化…。社会が大きな変革期に差し掛かる中で、事業戦略の見直しを迫られている企業も多い。これまでの延長線上に未来は描けるのか。かといって、立ち止まることは最大のリスクだともいわれている。テレビの部品事業で創業してから70年以上の歴史を有し、レジスターや電子看板などの情報事業をはじめ、時代に合わせ主力事業を変化させてきたTBグループは今年度、経営スローガンに“3C（チェンジ、チャンス、コネクト）でNEXTステージへ！”を掲げた。変化をチャンスに変えようと奔走する村田三郎会長兼最高経営責任者（CEO）に、事業変革の極意や今後の展望などについて聞いた。（青山博美）



—今年度（2018年度）の経営スローガンでは3つの“C”がうたわれています

「この3Cとは、チェンジ（変化）、チャンス（好機）、コネクト（つながり）のことです。経済社会の大きな変化は誰もが感じているところです。環境が変化する中では、自らも変化していくかなといけません。それこそダーウィンではありませんが、生き残るのは強いものでも大きいものでもなく、変化に対応する順応性に富んだものだからです。われわれはいままでそういうことを真剣に考えるタイミングにある、ということをスローガンに掲げました」

「TBグループは創業72年になりますが、この歴史の中で何度も主力事業を変化させ、時代の変化に対応してきました。現行の事業についても、そのままでこれからの変化に対応できません。IT化やグローバル化などを進めていく必要があります。これに加え、次の時代に求められる新たなビジネスを創出し、育てなければいけません。“半旧倍新”的前向きな戦略がポイントです」

—変化をチャンスにするとは、まさにそういうことですね

「そうです。だから2つ目の“C”であるチャンスという話になるわけです。幸いにして、新規事業が芽を出しへじめています。発光ダイオード(LED)による高精細フルカラービジョンや電子看板の発展型である“iサイネージ”、クラウド対応のレジを活用したソリューションビジネス、カプセルホテル。ドライブレコーダー、さらには病院や介護施設向けの“スマートヘルスケア”などです」

「たとえばスマートヘルスケアは、ホテルなどに導入してきたペイテレビのインフラやノウハウを活用し、部屋のテレビを介してさまざまなサービスを提供しようというものです。自社でできない部分は他社との協業で補いながら拡大していきます。こうしたスキームを『共創と協業』と呼んでいますが、今後はそうした進め方もさまざまな形で取り入れていこうと思います」

—それは、もう一つの“C”につながりそうな考え方ですね

「確かに、共創も協業もつながりがベースになりますが、ここでいう“C”であるコネクト（つながり）は、ビジネス

モデルのことを強く意識しています。これまで、レジスターでもテレビシステムでも、販売に主眼が置かれていました。このハードビジネス主体の収益モデルから、今後はハード+システム+情報・保守サービスというソリューション型の収益モデルを拡大していきます。例えば、テレビシステムや電子看板は、ハードだけではなく、むしろそれらが映し出す情報やコンテンツなどにこそニーズがあるといえますよね。しかも、情報提供などから得る収入は、ハードビジネスのように一過性ではありません。つながり続けることで、ハードウェアのネットワークを活用した多様なビジネスの可能性も生まれます。ドライブレコーダーなどについても同様です。つながることで得られるビッグデータもまた、次のビジネスの貴重な材料になっていきます」

—事業変革や新規事業の創出は多くの企業にとって大きな課題です。しかし、実現するのはなかなか大変です

「TBグループでは、新規事業に経験豊かな実績のある社員を投入します。よく社外で、若者を中心としたチームで新規プロジェクトに取り組む、という話を

むらた・さぶろう 1969年船井電機入社。フナイ電機商事取締役を経て1978年ビッグサンズ創業（ビデオ機器メーカーとしてTVプリカカード・LEDサイネージ機器）。2007年からTBグループ代表取締役会長兼社長。71歳。長崎県出身。

聞きますが、われわれは逆です。新規事業は現行の事業よりも難易度が高いわけですからね。逆に既存の事業は、ノウハウも実績もあるので、若手も積極投入し、スピードアップを図ります。事業の本質を学ぶ場としても活用していきます。既存事業をしっかりと維持し、新規事業は中堅幹部そして中途採用等で時流（トレンド）を先取りし、トレンドビジネスの垂直立ち上げを目指します」

成長戦略

デジタルサイネージ(DS)分野

トップシェアは
文字情報から映像へ！



屋外デジタルサイネージの多様なノウハウを活かし、幅広い業種・業態に対応。小型から大型まで、さまざまなニーズに応える。

レジ・POS(SA)分野

豊富なノウハウは
新たなマーケットニーズにコネクト！



新スタイルモバイルPOS
NECモバイルPOS × TOWAISAPPOS

日本初、指紋認証
銀行口座連携POSシステム

ホテル宿泊事業(まゆ玉®)分野

「また泊まりたくなる」をコンセプトに、
ホテル向けSleeping Box「まゆ玉」の
企画・開発・販売を開始。



Sleeping Box®「まゆ玉」を導入の「まゆ玉ホテル」を
直営店舗として、ホテル宿泊事業に参入。



ホテル／病院分野

・インバウンド急増(2860万人)
・超高齢化時代到来
(65歳以上3350万人:2015年現在)

→ チャンス

ホテル・病院・介護施設向けIPテレビ/AI
家電等、見守りセンサーをパッケージした
IoT関連事業を始める。



株式会社 TBグループ
東証2部上場(6775)

お問い合わせ先 株式会社TBグループ 経営企画室 谷口 TEL03-5684-2321 FAX03-5684-2320
Web <http://www.tb-group.co.jp>